

# 倉吉市打吹玉川(鳥取県)

土蔵と石橋が連続する玉川沿い



## (1) 保存地区の概要

地区名 倉吉市打吹玉川  
種別 商家町  
面積 約9.2ヘクタール  
選定年月日 平成10年12月25日  
(範囲拡大:平成22年12月24日)

特徴 鳥取県の中央にある倉吉は、江戸時代から明治・大正時代にかけて、商工業都市として繁栄した。保存地区は豊かな意匠を持つ町家が建ち並ぶ本町通りと、土蔵群と石橋が連続する玉川沿いからなる。赤褐色の石州瓦の屋根、軒まわりの海老状に曲がった腕木や持送り板、腰格子や繊細な出格子等の意匠に地域的特色があらわれている。

## (2) 保存地区のあゆみ

昭和54年度(1979) 倉吉商家町並保存対策調査  
昭和59年度(1984) 倉吉古い町並保存会設立  
平成8年度(1996) 倉吉市伝統的建造物群保存地区条例制定  
平成10年度(1998) **重要伝統的建造物群保存地区選定**  
平成14年度(2002) 防災計画策定書刊行  
平成15年度(2003) **東仲町で火災、14棟全半焼**  
倉吉町並み保存会設立  
平成18年度(2006) **防災センター「くら用心」整備完成**  
平成19年度(2007) 町並み保存対策見直し調査  
平成22年度(2010) **重要伝統的建造物群保存地区(範囲拡大)**  
平成25年度(2013) 防災計画策定報告書刊行  
平成28年度(2016) 保存対策計画書刊行  
鳥取県中部地震、特定物件の約3分の2被災  
～令和3年度(2021) **災害復旧事業 計121件(201/247棟:83%)**  
令和3年度(2021) 保存活用計画(保存計画の改正)  
令和5年度(2023) 重伝建選定25周年・倉吉町並み保存会設立  
20周年記念フォーラム  
町並み保存活用部会設置



町屋が建ち並ぶ本町通り



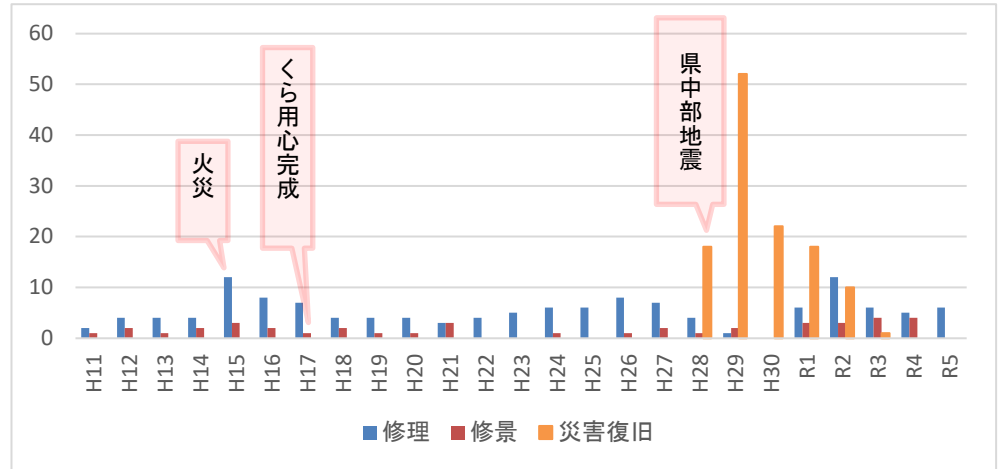
倉吉緋ののれんがかかる「くら用心」



重伝建選定25周年・保存会設立20周年フォーラム

(3) 保存地区の保存と整備

- ・選定後23年間の伝統的建造物の保存修理の実績
- ・火災および地震により被災した伝統的建造物の復旧事業
- ・防災センター「くら用心」の整備
- ・伝建事業の補完として、街なみ環境整備事業により修景
- ・設計士、施工業者対象の伝建勉強会の開催



災害復旧事業・修理事業



修景事業



案内板設置状況



県中部地震時の様子



防災センターくら用心(教育・防災施設)

## (4) 保存地区の活用とまちづくり

### ・空き家を活用した店舗の増加

にぎわいのある商店街づくり事業による新規店舗の増加  
伝建補助金を活用して、修理した空き家に店舗を構え移住  
定住した例もある。

また、空き家を宿泊施設として活用する事例も増加。



(ビール工房)



(チャレンジショップ)



(飲食店)



(物販・飲食店)



(ゲストハウス)



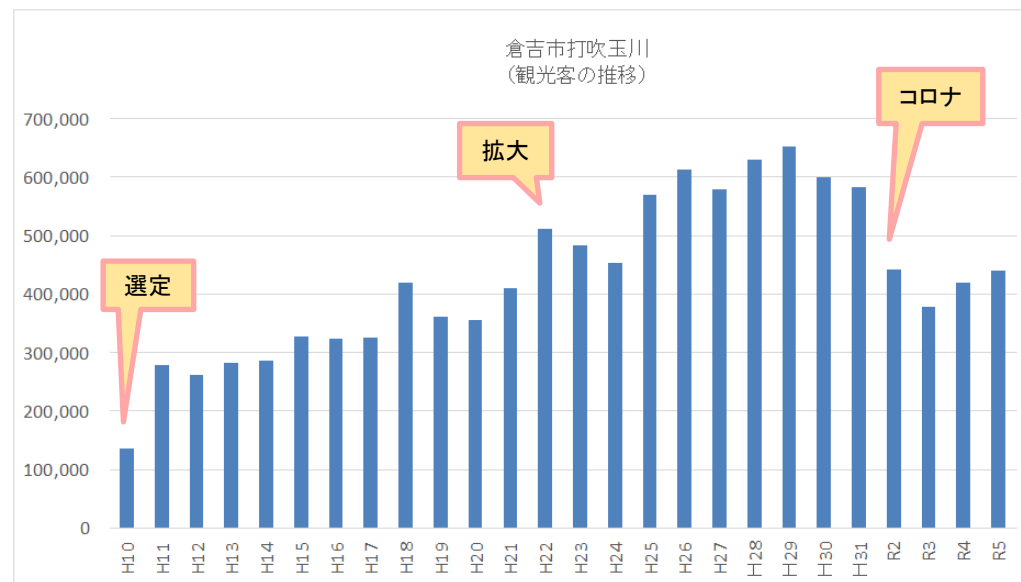
(飲食店・宿泊施設)



(宿泊施設)



グリーンスローモビリティ運行の様子



### ・グリーンスローモビリティの試験運行の実施

令和7年度に鳥取県立美術館開館を見据え、美術館から伝建  
地区を含む周辺の施設(指定文化財・登録文化財・他観光施設等)  
を周遊滞在型観光地として創り上げるため、電動車を活用した移  
動サービスの試験運行を実施。

観光ガイド付きの観光モデルコースも予約運行。

# 倉吉市打吹玉川(鳥取県)

## (5) 住民等の取組

- ・伝建修理報告会
  - ・防災マップ
  - ・流しびな、里見行列
  - ・地元小・中学生による玉川清掃
  - ・打吹小学校総合学習など
  - ・町並み保存活用部会設置
- ※住民の修理や活用のための相談窓口として設置



防災マップ



流しびな(4月)



里見行列(9月)



長谷の観音市(2月)



打吹小学校総合学習



東中学校による玉川清掃活動



伝建修理報告会



重伝建選定25周年・保存会設立20周年フォーラムの記念講演とパネルディスカッションの様子

